

授業づくり研修③
(パッケージ研修支援全大会②)

R4年度 研究部

【研修の流れ】

①16:00～ 『詩を作ってみよう』 振り返り

- ・ 指導主事より ご講評
- ・ 授業者より 成果と課題
- ・ 参加者より 感想や気づき

【研修の流れ】

②16:30～グループワーク

『子どもが主体的に学ぶために
授業でできる工夫とは』

前半の研修のねらい

- 本時の評価規準から目標が達成されているかどうかを検証する。

本時の評価規準

【思考・判断・表現力】

詩のテーマに合わせて自分で書く詩の内容を大まかにまとめようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

写真やオマージュ、詩の表現方法を選択し、粘り強く考えて詩を創作しようとしている。

大阪府教育センター

南 智文 指導主事より

本時の評価規準と目標の達成について、
観点別学習状況の評価の意義もあわせて、
ご講評をいただきます。

『詩を作ってみよう』
研究授業を終えて

R4年度 研究部 松浦由輝子

【思考・判断・表現力】

詩のテーマに合わせて自分で
書く詩の内容を大まかにまとめ
ようとしている。

スモールステップで学習

一行詩（比喩） → オマージュ → テーマを決めて三行詩 → 自由に創作

→ 自分で感じたことを大まかにまとめて表現できるようになってきた

→ 失敗よりチャレンジ！ありのままに表現することが素晴らしいことだという経験

【iPad使うことの効果】

- ・ 写真を活用することでイメージを膨らますことができました。
- まったく文章が思いつかない生徒が書けた。
- 詩のテーマに合わせた内容を書く手助けになった。

【主体的に学習に取り組む態度】

写真やオマージュ、詩の表現方法を選択し、粘り強く考えて詩を創作しようとしている。

【iPad使うことの効果】

- ・ 文字を書くことが苦手な生徒への意欲につながった。また消しゴムで消さずに、容易にやり直しができたことで文章の**推敲**がしやすかった。

→粘り強く考えて詩を創作することに繋がった

【iPad使うことの効果】

- ・自分で好きな背景や挿絵を入れることで、自分だけのオリジナル作品ができた。完成度の高い作品ができ、もっと作りたいという気持ちが高まった。

→意欲をもって詩を創作することに繋がった

【ふりかえりノートから
みる子どもの変化】

今後の課題

学んだスキル（作文、推敲）を

今後の授業の中で、

生活の中で

どのように生かしていくか

参加者からの

感想や気づき

【研修の流れ】

② 16:30～グループワーク 15分間

16:45～各グループの発表

『子どもが主体的な学ぶために

授業でできる工夫とは』

後半の研修のねらい

参加者が考えよる主体的な学び
を考え、情報共有する

グループワーク 15分間

『子どもが主体的に学ぶために
授業でできる工夫とは』

- 主体的な学びとは
- キーワード